

令和3年度

芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「音楽Ⅱ 改訂 Tutti」（教育出版）						
副教材等	「Musuc Navigation」（教育出版）						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

音楽Ⅱでは、①器楽(1年次で学習した内容と打楽器)②歌唱(日本歌曲・ドイツ歌曲等・3部・4部合唱)③鑑賞④楽典、の4つの分野を学習します。グループワーク(アンサンブル)では、他の生徒さんと一緒にひとつの楽曲を作りあげることを目標にします。興味を持って積極的に参加し、楽曲の学習・練習に一生懸命取り組む姿勢が大切です。

2. 学習の到達目標

鑑賞・表現ならびに創作:様々な国の楽曲を鑑賞することによって、他国の芸術を尊重する態度を育成し、より一層深く理解する。音楽理論の学習を通して、西洋音楽・日本音楽の表現の方法の相違点を明確な言葉で表現できるなど、楽曲の背景を理解した上で、演奏できることを目標とする。

3. 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	・取り組む姿勢 ・プレゼンテーション ・鑑賞シート ・ワークシート	・実技試験 ・筆記試験 ・プレゼンテーション ・グループワーク	・実技試験 ・ワークシート ・プレゼンテーション	・実技試験 ・鑑賞シート ・取り組む姿勢 ・ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	・オリエンテーション ・リコーダー ・鑑賞 ・歌唱(ドイツ歌曲等)	・リコーダーの演奏法を学び、独奏とアンサンブル奏を行う。 ・鑑賞(6曲)を通して、他国の文化を知る。 ・西洋歌曲の歌唱を通して、他国の表現とわが国の表現の違いを学ぶ。	○	○	○	○	a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	実技試験 鑑賞シート ワークシート
2	・器楽アンサンブル① ・鑑賞 ・歌唱(三重唱) ・楽典 ・伝統芸能②	・打楽器の学習とアンサンブルを学習する。 ・鑑賞(5曲)を通じて、より深い知識を得る。 ・合唱曲を学習し、声によるアンサンブルを学ぶ。 ・音程、和音の学習を通して、楽曲の構造を理解する。 ・創作活動を行い、音による表現を学ぶ。 ・日本の伝統芸能について学ぶ。	○	○	○	○	a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	実技試験 鑑賞シート ワークシート
3	・器楽アンサンブル② ・鑑賞 ・歌唱(合唱) ・音楽史	・打楽器の学習とアンサンブルを学習する。 ・鑑賞(3曲)を通じて、より深い知識を得、表現法を学ぶ。 ・合唱曲を学習し、声によるアンサンブルを学ぶ。	○	○	○	○	a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	実技試験 鑑賞シート ワークシート

※ 表中の観点について

a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫

c: 音楽表現の技能

d: 鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。